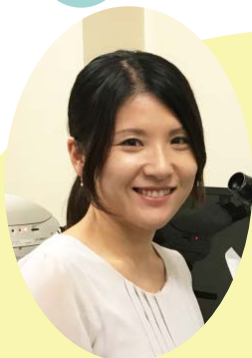


脳内エネルギー代謝と 睡眠の相互作用

Sleep homeostasis couples
with brain energy metabolism



申込み不要



徳島大学大学院
医歯薬学研究部
統合生理学分野



講師 **近久 幸子**

睡眠を中心とした行動解析を専門とし、睡眠障害に伴う行動異常などの研究を行っている。最近では睡眠とエネルギー代謝の相互調節に関する研究を中心にしている。

睡眠とエネルギー代謝は様々な共通の因子によって調節されており、睡眠不足は肥満や糖尿病などの発症リスクを増大させることが知られています。本講では、AMPK (AMP-activated protein kinase) やPPAR α (peroxisome proliferator-activated receptor α) などエネルギー代謝に重要な役割を担う因子と睡眠調節との関わりについて紹介します。また、睡眠障害により惹起される情動障害や行動異常について最近の知見を紹介します。

【日時】 2018年
11月30日（金） 16:00～17:00

【場所】 理化学研究所
生命機能科学研究センター 2F大会議室
(神戸MI R&Dビル 2F, 神戸市中央区港島南町6-7-3)
<https://www.bdr.riken.jp/jp/access/index.html>

【お問合せ先】

健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム
融合研究推進グループ 共同利用設備構築・利用促進ユニット
担当： 喜井 勲
E-mail : isao.kii@riken.jp 電話 : 078-304-7162

